



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和7年度学校だよりNo.10
令和7年11月21日(金)

学びの秋



10月20日(月)～11月10日(月)までの3週間、本校の卒業生2人が教育実習に来ました。実習期間中には、授業研究はもちろん、学級担任の業務や学校行事の引率なども体験してもらいましたが、2人とも明るく爽やかにこなすことができました。

さて、11月21日(金)には市の教育委員会から指定を受けた授業研究会を行います。昨年度からの研究のまとめとして6人の教員が授業公開を行いますが、それに向けての準備が進められています。授業研究の目的は、児童の成長のための指導力の向上です。25日(火)からは学校公開も予定されていますので、ぜひご来校いただき、授業の様子をご覧いただければと思います。



自治的活動(話し合い活動)について

学校公開期間中、学級活動の中で話し合い活動の様子を公開します。「学校生活をよりよくするために」を学校全体のテーマとして、各学級で話し合い活動を行います。学校生活上の課題に気付き、それに対して自分たちができる改善策について話し合う予定です。ぜひご参観ください。

「まえまえちゃん」の着ぐるみを製作していただきました

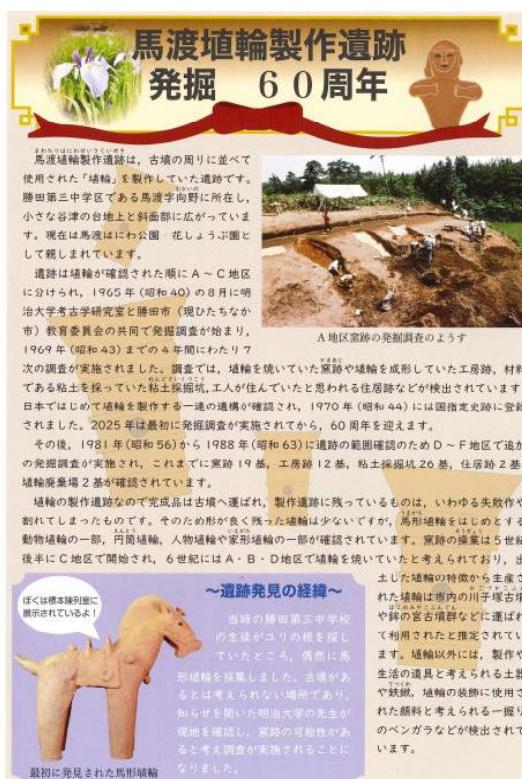
6年3組の○○○○さんが、前渡小のキャラクターである「まえまえちゃん」の着ぐるみを製作してくれました。

代表委員を務める○○さんが、「まえまえちゃん」の着ぐるみがあれば、もっと学校生活が楽しくなるのではないか、もっと盛り上がるのではないかと考えて、ご家族の協力をいただきながら製作してくれました。職員室内で歓声が上がるくらい、素晴らしい仕上がりです。さっそく、1年生の遠足の出発式でデビューしましたが、これから学校行事の中でも活用させていただきます。



馬渡埴輪製作遺跡発掘60周年

～「ひたちなか埋文だより第63号」より引用～



ひたちなか市埋蔵文化財調査センター発行の「ひたちなか埋文だより第63号」に「馬渡埴輪製作遺跡発掘60周年」の特集が組まれております。馬渡埴輪製作遺跡は、馬渡字向野に所在し、現在は馬渡はにわ公園・花しょうぶ園として親しまれている場所です。

埋文だよりによりますと、1965年(昭和40年)の8月に発掘調査が始まり、1970年(昭和45年)には国指定遺跡に登録をされたそうです。また、遺跡発見の経緯については次のように紹介されています。

「当時の勝田第三中学校の生徒がユリの根を探していたところ、偶然に馬形埴輪を採集しました。古墳があるとは考えられない場所であり、知らせを聞いた明治大学の先生が現地を確認し、窯跡の可能性があると考え調査が実施されることになりました。」

地域に残る貴重な遺跡であり、児童にもぜひ知ってもらいたい遺跡です。埋蔵文化財調査センターにも、ぜひ一度足を運んでみてください。